

平成14年緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰受賞者名簿
(五十音順)

[個 人]

いけだ さだゆき
池田 定行 (熊本県天草郡五和町)
いせき のぶこ
井関 伸子 (鳥取県鳥取市)
さとなか ちょうじ
里中 長治 (大阪府泉南郡岬町)
しのはら あさこ
篠原 朝子 (静岡県静岡市)
にしむら せいしん
西村 清信 (富山県砺波市)
まるお さだお
丸尾 貞雄 (香川県観音寺市)

[団 体]

あろう だいちょうめにしこうえんあいごかい
荒生田一丁目西公園愛護会 (福岡県北九州市)
おおつちちょうこうみんかんきりきりぶんかんうんえいいんかい
大槌町公民館吉里吉里分館運営委員会 (岩手県上閉伊郡大槌町)
こじま こうぎょうかぶしきかいしゃほんしゃこうじょう
小島プレス工業株式会社本社工場 (愛知県豊田市)
しゃかいふくしほうじんしせいかいきゅうごしせつせいこうえん
社会福祉法人至誠会救護施設誠幸園 (青森県十和田市)
にほんたんしかぶしきかいしゃはないずみこうじょう
日本端子株式会社花泉工場 (岩手県西磐井郡花泉町)
かぶしきかいしゃ
ハウステンボス株式会社 (長崎県佐世保市)
ばとうちょうりつばとうひがしちゅうがっこうみどり しょうねんだん
馬頭町立馬頭東中学校緑の少年団 (栃木県那須郡馬頭町)
はままつしはな りよくかれんらくきょうぎかい
浜松市花いっぱいコミュニティ緑化連絡協議会 (静岡県浜松市)
ひがしちょう
東町さつきクラブ (鳥取県米子市)
よしだちょうはな かい
吉田町花の会 (静岡県榛原郡吉田町)

[学 校]

いなしりつ いなにししょうがっこう
伊那市立伊那西小学校 (長野県伊那市)
かみいちちょうりつしらはぎせいぶしょうがっこう
上市町立白萩西部小学校 (富山県中新川郡上市町)
くまもとしりつたかひらだいしょうがっこう
熊本市立高平台小学校 (熊本県熊本市)
とようらちょうりつせいしょうがっこう
豊浦町立誠意小学校 (山口県豊浦郡豊浦町)

[地方公共団体]

いたみし
伊丹市 (兵庫県伊丹市)
おおがきし
大垣市 (岐阜県大垣市)
つきだてまち
月館町 (福島県伊達郡月館町)
みなみあしがらし
南足柄市 (神奈川県南足柄市)

[個人]

氏名	いけだ さだゆき 池田 定行
住所	熊本県天草郡五和町
功績の概要	<p>同氏が住む天草地方は、海岸に多くのマツが生え、白砂青松といった美しい景観を呈していたが、昭和40年頃からマツクイムシによる立ち枯れが目立ち始め、ほとんどの海岸からマツが消えていった。同氏は、かつての美しい景観を取り戻すため、全国に先駆けてマツクイムシ抵抗性マツの開発に尽力した結果、平成3年には「天草スーパー松」と名付けられた苗木を出荷できるまでになり、今では少しずつ往時の景観を取り戻しつつある。</p> <p>また、次世代を担う子どもたちに対する緑化の啓発が重要である、との信念から、平成元年に発足した五和町緑の少年団の設立に尽力したほか、平成3年には、下天草地域にある9つの少年団を対象とした「天草緑の少年団育成協議会」の設立、地域の少年団相互の交流を目的として平成4年から毎年開催されている「天草緑の少年団交流集会」の企画・運営にも大きな貢献をしている。</p> <p>さらに、山と田んぼと海の結び付きを深めるため、林業者、農業者、漁業者など地域の人々の交流会の開催などを提唱し、新たな緑化への取り組みに、積極的に尽力している。</p>

[個人]

氏名	いせきのぶこ 井関 伸子
住所	鳥取県鳥取市
功績の概要	<p>同氏は、女性の社会教育団体として各種社会問題に取り組んでいる鳥取市連合婦人会の会長を務めた平成6年～平成12年の間、猛暑による全国的な異常渇水をきっかけとして、鳥取市の水源確保と森林の働きの関係について考えるようになった。鳥取市の水源である千代川の上流域の森林に目を向け、森林や林業の調査や学習活動を重ねた結果、森林の危機は我々人間の生活の危機にも繋がるものであると訴え、豊かな森を子どもたちに引き継ぐための活動を展開した。</p> <p>また同氏は、「緑の募金女性の森基金」の設置や、「女性の森グループ」の創設に大きな役割を果たすとともに、その活動の拠点として鳥取市内の森林公園における「女性の森」の造成にも顕著な貢献をするなど、「県民参加の森林づくり」の先駆けとなる活動を実施した。</p> <p>さらに、林業関係者と交流しながら緑化活動や森林教室、県内外の女性団体との森林づくり交流を盛んに行うとともに、千代川上流域の緑の少年団と鳥取市連合婦人会との交流を実施するなど、同氏の緑化推進に対する取組は、県内外の婦人団体をはじめとする様々な団体に多大な影響を与えた。</p>

[個人]

氏名	<p>さとなか ちょうじ 里 中 長 治</p>
住所	<p>大阪府泉南郡岬町</p>
功績の概要	<p>同氏は、昭和57年から昭和62年にかけて岬町立淡輪小学校校長を務めた際、林業離れが進む一方で松くい虫被害により荒廃した森林に緑を取り戻し、緑の大切さを児童たちに理解させ故郷を愛する心を養うため、国有林の一部を借り受け、卒業記念植樹として5年間で8,000本もの植樹を行うなど、学校林活動を推進した。</p> <p>また、「岬町自然愛護会」を設立し、会長として活動する中で、大阪府内でも残り少ない自然海岸である淡輪長松海岸において、マツクイムシ被害により全滅寸前であった海岸林を復活させようと昭和59年から毎年約50本のクロマツの植栽を続けたため、同海岸のマツ林は緑豊かな姿を取り戻しつつある。さらに同氏は、平成12年7月に大阪府緑の少年団連盟会長に就任し、岬町の少年団のみにとどまらず、府内全ての団員育成に熱心に取り組み、子どもたちに緑の果たす役割と緑を守り育てることの大切さを教え、次世代を担う青少年の森林・環境教育に尽力した。</p>

[個人]

氏名	<p>しのはら あさこ 篠原 朝子</p>
住所	<p>静岡県静岡市</p>
功績の概要	<p>同氏は、清水の街を花と緑で復興しようと昭和26年8月に結成された「清水花の会」の呼びかけに賛同、結成当初から参加した。以後、清水花の会理事、会長などを歴任し、現在も約300人の会員の手本となる良き指導者として活動している。</p> <p>同氏は、清水花の会における指導を通じ、桜が丘公園や折戸花壇等におけるパンジー、サルビアをはじめとする四季折々の花の植え付け、会員が丹精した花を持ち寄る春のバラ展・秋の菊花展の開催など、積極的な活動で市街地の美化、緑化に貢献しているほか、将来の美化活動を担う小学生に球根の植え方を指導するなど精力的な活動をしてきた。</p> <p>また、昭和55年4月から13年間静岡県花の会連合会常任理事、平成5年4月から現在まで同副会長の要職に就き、静岡県が提唱した「一家一年一木一花運動」の推進に寄与してきている。</p> <p>昭和26年の清水花の会発足以来50年にわたり卓越した統率力と指導性を発揮して、清水市や静岡県の環境緑化に貢献してきた功績は非常に大きい。</p>

[個人]

氏名	にしむら せいしん 西村 清信
住所	富山県砺波市
功績の概要	<p>同氏は、昭和57年より公園内の清掃、花壇花木の植栽管理を始め、昭和61年には花と緑の銀行地方頭取（富山県独自で設立した組織で、自主的な緑化運動を推進するために設立されたもの）に就任するなど、緑化推進運動の全般的な指導者として、緑化計画の策定や地域住民への緑化意識の高揚に献身的に尽力した。</p> <p>花壇造成を通じて緑化推進に貢献するほか、油田地区の全住民が花と緑の推進活動に参加し、うるおいある地域づくりを推進するための「油田地区花と緑の推進協議会」の設立に尽力し、その会長として率先して花づくり講習会や土作りに積極的に参加し、その普及啓発に貢献した。</p> <p>活動組織の要職を辞した現在も、長年の経験と実績を生かして地域の緑化活動に尽力している。</p>

[個人]

氏名	<p>まるお さだお 丸尾 貞雄</p>
住所	<p>香川県観音寺市</p>
功績の概要	<p>同氏は、ひがし児童公園において、19年にわたり利用者、とりわけ児童や高齢者が快適に利用できるよう、四季を通してほぼ毎日公園の美化に努めている。</p> <p>同氏の一日は早朝の公園清掃から始まる。まず公園のゴミの分別収集、便所の清掃を終えると公園全体に目を配り、後の作業計画を考え、四季に応じた除草、剪定、灌水作業や遊具の補修などに汗を流している。</p> <p>名も告げずに公園施設補修用の資材を置いていく人もいるなど、同氏の行為に対する感謝の気持ちは地域で深まっており、地域住民への緑化・美化の啓発に大きく貢献している。</p> <p>同氏は、「私たちが利用する公園は私たちが守ろう。公園は社会の窓。その窓が曇ったら何も見えなくなる。身体が動く限り続けたい。」と今後のボランティア活動への意欲を語っている。</p> <p>同氏がボランティア活動を実施している公園は児童公園であり、児童、生徒の利用が多く、同氏の長年の献身的な活動は社会教育の良き教師といっても過言ではなく、緑化・美化の推進のみならず、地域住民のボランティア意識向上の面でも多大な貢献をしている。</p>

[団 体]

<p>名 称</p>	<p>あろうだいちょうめにしこうえんあいごかい 荒生田一丁目西公園愛護会</p>
<p>所在地</p>	<p>福岡県北九州市</p>
<p>代表者</p>	<p>会 長 余嶋 一男</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同会は昭和30年から活動を始め、樹木の手入れ、除草、清掃、花壇の管理、美化活動等の定例活動を継続して行っており、その結果同公園は幼児でも安心して遊べる公園として、また年長者の憩いの場として、常に良好な状態に維持管理されている。</p> <p>緑化活動の実施にあたっては、他の地域の住民団体等と協同で、公園ばかりでなく、公園周辺の道路清掃等も併せて行っており、公園を中心として、周辺の住民団体を含めた地域ぐるみの緑化活動へと発展している。</p> <p>さらに、住民による地域ぐるみの緑化活動の実施が、同地域にある専門学校の30人を超える生徒・教員らによる毎週1回の公園、道路等の緑化・清掃活動や、信用金庫職員による毎週1回の公園清掃活動の実施へとつながってきており、同愛護会の緑化活動は、地域の住民団体、学校、企業等の緑化活動の推進に大きく貢献している。</p>

[団 体]

<p>名 称</p>	<p>おおつちちょうこうみんかん きりきりぶんかん うんえいいんかい 大 槌 町 公 民 館 吉里吉里分館 運 営 委 員 会</p>
<p>所 在 地</p>	<p>岩手県上閉伊郡大槌町</p>
<p>代 表 者</p>	<p>分館長 堀合 豊勝</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同会では、昭和50年4月頃から「地域的美観は地域住民から」のスローガンのもとに、地区民一体となって清掃作業、法面の草刈り、道路脇の花壇への植栽など、環境整備に積極的に取り組んでいる。</p> <p>毎年の活動として、春・夏・秋の3回、地区民一斉の大清掃や毎月第2日曜日の定例清掃、海水浴シーズンを前にした海岸清掃、国道沿いの花壇の手入れ等を実施し、連帯や郷土愛の精神の醸成を図るとともに、先人が育んできたふるさとの美観を後世に伝える活動を展開し、地域の連携を一層深めている。</p> <p>また、平成9年10月、天皇皇后両陛下ご臨席のもと、大槌漁港を会場に開催された「第17回全国豊かな海づくり大会」に向けた取り組みにおいては、これまでの地域活動への経験を生かし、先導的な役割を果たすとともに、大会成功に向け積極的な活動を展開した。町を一つにした取り組みの結果、大会は成功を収めたが、同会は、大会開催を契機とした更なるまちづくりやまちづくりへの町民意識の高揚に多大な貢献をするとともに、現在もその活動を継続推進している。</p>

[団 体]

<p>名 称</p>	<p>こじま こうぎょうかぶしきかいしゃ ほんしゃこうじょう 小島プレス工業株式会社 本社工場</p>
<p>所在地</p>	<p>愛知県豊田市</p>
<p>代表者</p>	<p>取締役社長 佐伯 外司</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同工場は昭和31年操業開始の自動車部品製造工場である。</p> <p>「良い環境は良い人を生む」という基本理念のもと、「小さな苗木から大きな木を育てる」をモットーに全社員参加による緑化活動を推進しており、工場敷地内には、サツキ、ツツジ、カイツカイブキ等約6千本の樹木や四季の花々が生育するなど、緑地の大半を敷地周辺に配置するとともに、人工丘陵を造ることにより工場周辺の住居に配慮しつつ、空間を立体的に活用した緑化を実施している。</p> <p>また、使用済みの洗剤パックを利用した花鉢で工場周辺のフェンスに季節の花を飾り、地域住民の目を楽しませているほか、緑地の一部はパターゴルフ場として整備し、地域住民へ開放している。さらに、地元神社等への苗木の植栽や種の配布、工場周辺や地元神社境内の清掃活動等、地域社会への貢献度も高い。</p> <p>古紙を自社でトイレットペーパーとして再生後、自社及び関連会社で利用したり、食堂から排出された残飯を堆肥としてリサイクルするなど、積極的に環境対策に取り組んでいる。</p>

[団 体]

<p>名 称</p>	<p>しゃかいふくしほうじん 社会福祉法人 しせいかい 至誠会 きゅうごしせつ 救護施設 せいこうえん 誠幸園</p>
<p>所 在 地</p>	<p>青森県十和田市</p>
<p>代 表 者</p>	<p>園 長 中野渡 勇治</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同園では、昭和41年から、十和田湖国立公園への東の入口である国道102号、45号線を通る観光客やドライバーを美しい花で迎えるため、国道沿いのゴミ拾いをはじめ、草刈り作業と併せて花壇づくりを実践し、地域美化と緑化思想の意識啓蒙に大きく貢献している。</p> <p>花壇面積も約250坪にもおよび、パンジー、百日草、マリーゴールド、チューリップなど30種以上の草花を季節に合わせて移植・管理している。</p> <p>花は苗から育て、同園を利用している障害者を中心に、地域住民と一緒に花づくりの楽しさや大変さを感じながら、育てた草花は、地域住民や学校・公民館などに無償で提供し、環境美化・緑化の意識の高揚に努めている。</p> <p>同園は、その活動を通じ、障害者や高齢者の生きがいづくり・率先した地域活動の実践により、地域交流の中核を担っている。</p> <p>また、十和田湖は、地域のみならず広く全国から観光客が訪れるため、同園を中心とした地域活動は、訪れる者の目を楽しませ、ひとときの心の安らぎとして喜ばれている。</p>

[団 体]

<p>名 称</p>	<p>にほんたんしかぶしきかいしゃ はないずみこうじょう 日本端子株式会社 花 泉 工 場</p>
<p>所 在 地</p>	<p>岩手県西磐井郡花泉町</p>
<p>代 表 者</p>	<p>代表取締役社長 渡邊 享司</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同工場は昭和60年操業開始の電子機械器具製造工場である。</p> <p>「豊かな自然環境と調和した工場の発展と緑化の推進」という環境方針のもと、工場内に組織された緑化推進チームを中心に全社員が協力し、工場敷地の約60%を緑化する等積極的な工場緑化に取り組んでいる。</p> <p>緑化の推進にあたっては、自然林を生かしながら周辺環境に配慮した工場緑化を推進し、ソメイヨシノ、ベニカナメモチ、モクレン、梅、杏等季節感溢れる樹木を植栽し、修景美化に努めている。こうした工場敷地内の緑地は常時開放されており、地元保育園、幼稚園及び小学校の遠足の受入れや、地域住民を招待しての花見会、キノコ狩り等、従業員のみならず地域住民への憩いの場の提供という面に関しても非常に貢献度が高い。</p> <p>さらに、周辺工場や地元自治会等の緑化の推進に関する視察を受け入れ、工場緑化に限らず、地域緑化の指導者的役割を担っている。</p> <p>以上のように、同工場の諸活動は地域に密着した緑化の推進や地域コミュニティの活性化に顕著なものがあり、その功績は高く評価されるものである。</p>

[団 体]

<p>名 称</p>	<p>ハウステンボス^{かぶしきがいしゃ}株 式 会 社</p>
<p>所 在 地</p>	<p>長崎県佐世保市</p>
<p>代 表 者</p>	<p>代表取締役社長 森山 道壯</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同社が立地する土地（152ha）は、従前、工業団地用地として造成された荒れ地であった。この土地に「森」を造るため、良土の搬入と堆肥、ピートモスなどの有機的な改良方法を採用し、40万本の植樹を行った。また鳥などの生物により運ばれた実などによる「実生苗」も数10万本に達し、敷地に対する緑地は、約6割を占め、昆虫145種、鳥類60種を確認するほど生物が棲む森となっている。</p> <p>植栽の肥料、散水用水は、生ゴミの堆肥化、排水の高度処理を行い使用しており、余剰水及び雨水は、地下浸透させて緑への水のかん養となっている。この処理水は、施設の水使用量の約40%を賄っている。</p> <p>平成6年にはハウステンボス環境文化研究所、ハウステンボス環境研究会を設立し全従業員を所属させ、環境保全についての調査、研究、実践活動を行い、その成果を社会へ提供し、社会へ役立てることを一つの目標としている。また、従業員による植栽を行うとともに、平成8年には、土壌・樹木の状態について調査し、成果を基に、樹木の育成管理を行うなど、更なる緑化推進を図っている。</p>

[団 体]

<p>名 称</p>	<p>ばとうちょうりつ ばとうひがしちゅうがっこう みどり しょうねんだん 馬頭町立馬頭東中学校 緑の少年団</p>
<p>所在地</p>	<p>栃木県那須郡馬頭町</p>
<p>代表者</p>	<p>校 長 清水 賢治</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同少年団は、平成3年に全校生徒で結成以来、教職員を始めP T Aや地域住民の様々な支援を受けながら、積極的に緑化活動を実践している。</p> <p>学校林の維持管理のため、樹木の成長を観察・記録するほか、地域の有志による応援を得て、遊歩道の整備や倒木の処理、施設の補修などを行っている。その結果、学校林は地域の保育所や小学校による体験学習のフィールドとして提供され、また、住民の貴重な憩いの場に活用されている。</p> <p>また、少年団全員で学校林を利用して、「グリーンミーティング」と称する環境学習を毎年行い、様々な体験活動を通して生徒間の相互理解を深めるだけでなく、近隣の小学生を招き、一緒に活動するなどして地域の子供たちの連帯感を強めている。さらに、サルビアなどを種から育て、学校花壇に植えたり、地域内の小学校や老人宅へプレゼントして地域環境緑化の担い手として、地域へ貢献している。</p> <p>ほかにも、毎年、廃品回収でのリサイクル活動による益金を緑の募金に寄付しており、地域を代表する緑の少年団として緑化推進運動を実践している。</p>

[団 体]

<p>名 称</p>	<p>はままつしはな 浜松市花いっぱいコミュニティ緑化連絡協議会</p>
<p>所在地</p>	<p>静岡県浜松市</p>
<p>代表者</p>	<p>会 長 野尻 啓子</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同会は、「街中を花いっぱい咲かせよう」をスローガンに昭和60年に17団体で設立された。その後、趣旨に賛同する市民が増え、現在34団体2,000人の大きな団体に成長している。</p> <p>同会の活動は、地域の公民館を拠点に、公園、商店街、沿道等各地域での適切な場所を選定し、四季折々の花の植栽や維持管理をボランティアとして行っている。道ゆく人々の心を和ませ、花づくりを通じたコミュニティの輪を広げ、浜松市の花いっぱい運動の推進に貢献している。</p> <p>また、小中学生等に対して、花の寄せ植えづくりなどの体験教室を開催し、次世代の花いっぱい運動を担う人材の養成を行っている。</p> <p>近年は特に、2004年に開催される「しずおか国際園芸博覧会」に向けて会員の花づくりの知識や技術の向上を目指すとともに、緑化関係団体の活動にも積極的に参加している。</p> <p>同会は、以上のように、構成団体相互の連絡協調を図り、ボランティア活動を通して、花いっぱいあふれる潤いのあるまちづくりに顕著な貢献をしている。</p>

[団 体]

<p>名 称</p>	<p>ひがしちょう 東 町さつきクラブ</p>
<p>所 在 地</p>	<p>鳥取県米子市</p>
<p>代 表 者</p>	<p>会 長 大石 義一</p>
<p>功績の概要</p>	<p>昭和50年に結成された同クラブは、東町公園及び周辺区域の除草清掃を会員がほぼ毎日実施し、公園、花壇管理を中心に活発な活動を続けており、その活動状況は非常に顕著である。</p> <p>「草を生やすのではなく、公園を花いっぱいにしよう」という呼びかけのもとに会員が集まり、公園、花壇等の除草、清掃を実施し、美化・緑化活動の推進に積極的に取り組んでいる。</p> <p>花壇では、春にワスレナグサ、ホウセンカ等、秋にはチューリップ、ユリ等を植栽し、四季を通じて花づくりに取り組んでいる。植栽された花は多くの人々に鑑賞され、学校の小遠足の場として利用されるなど、中心市街地の中の貴重な緑地、花壇として、市民に憩いと安らぎの場を提供している。</p> <p>また、子供の健全な育成を図るため、近隣の保育園と協力し、各種行事を公園で実施するなど、地域のふれあいを大切にし、緑化の啓発、公園利用促進に大きく貢献している。</p>

[団 体]

<p>名 称</p>	<p>よしだちょうはな かい 吉 田 町 花 の 会</p>
<p>所 在 地</p>	<p>静岡県榛原郡吉田町</p>
<p>代 表 者</p>	<p>会 長 水野 吏</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同会は、吉田町全体を花いっぱいにして心豊かなすみよい環境をつくろうと、花好きの有志が集い、昭和32年に設立された団体である。</p> <p>会員は160名であり、設立以来の長きにわたり花いっぱい活動を実践している。3年前から町との共催による花いっぱい講習会を開催し、普及啓発活動に熱心に取り組んでいる。</p> <p>同会所有の育苗ハウスでは、年間2万本を超える苗を生産し、各種イベント等で来場者に配布するなど、特色ある活動を展開している。</p> <p>また、花苗は、町内の各道路等の他、イベントのシンボル花壇等にも植栽され、地域住民、観光客を楽しませ、心を癒している。</p> <p>「しずおか緑・花・祭」等各種イベントでは、花壇の展示の他、会場内の花摘み、散水や除草を行うボランティアに多くの会員が参加し、イベントの成功に向けて積極的な取り組みを行うなど、常に地域の緑化推進運動の中心的役割を果たしている。</p>

[学 校]

<p>名 称</p>	<p>とようらちょうりつせいしょうがっこう 豊浦町立誠意小学校</p>
<p>所在地</p>	<p>山口県豊浦郡豊浦町</p>
<p>代表者</p>	<p>校 長 久保 良雄</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同校は、昭和47年から環境緑化活動に取り組み、「緑に憩い、緑を愛する」心身ともにたくましい児童の育成を図ってきた。特に、「理科教育」と「環境教育」の結合を理念に、自然に溶け込む学習単元の開発に努めた。その成果として、木の実や野草を学習教材とした生活科プログラムにつながった。</p> <p>同校では、地域ぐるみでの環境緑化活動が活発に展開されており、これまでも、P T Aをはじめ、地域の人々の協力による剪定作業、卒業生の心のよりどころとなっている老木「ニレ」の蘇生及び維持管理などに取り組んできた。また、樹木名札の更新なども、地域の材木店の協力のもとに児童の自発的な活動として行われている。</p> <p>現在、同校は校内だけで行われてきた環境緑化活動を地域全体の環境保全活動へ広げていこうと、校区を流れる杜屋（もりや）川の浄水活動を実施している。これは、ホタルを増やそうと竹炭を川底に敷き詰める作業で、地域の人々に混じって「ほたるクラブ」の児童も多数参加している。</p> <p>以上のように、同校はP T Aや地域と連携した環境緑化活動を積極的に推進している。</p>

[学 校]

<p>名 称</p>	<p>いなしりついなにししょうがっこう 伊那市立伊那西小学校</p>
<p>所在地</p>	<p>長野県伊那市</p>
<p>代表者</p>	<p>校 長 小山 健二</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同校は、「林間」とよばれる1.2haの学校林を持ち、昭和22年の学校創立以来、児童、父兄、地区住民が参加して植林し、保護育成に努め、授業に活用されてきている。</p> <p>この「林間」では、朝の「全校林間マラソン」が行われるほか、P T Aが作った遊具、飯盒炊さん施設を備えており、「森の教室」と呼ばれる林間に机や椅子を並べたステージで授業を行ったり、基地づくり、野鳥観察、きのこづくりなどこの「林間」にかかわる活動があらゆる教育に生かされている。この動きは、近隣の4校でも森林を活用しての取り組みがはじめられるなど、着実に地域への広がりを見せている。</p> <p>地区住民の手で、適期に適切な作業が積み重ねられ、この「林間」が校区の入口部に位置するため、その展示効果は高く、この「林間」を手本に森林施業を行ってきた住民も多い。</p> <p>同校在校生の保護者の多くが同校卒業生であり、児童としてこの「林間」で学び、親として再びこの林間にかかわることで、地区住民の緑化意識を高め、引き継いでいく場としても機能している。</p>

[学 校]

<p>名 称</p>	<p>かみいちちょうりつしらはぎせいぶしょうがっこう 上市町立白萩西部小学校</p>
<p>所在地</p>	<p>富山県中新川郡上市町</p>
<p>代表者</p>	<p>校 長 宍戸 美喜子</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同校は、全校児童数55名と上市町の中で一番小さな学校であるが、花と緑とのふれあいを通じて、心豊かな児童の育成を目指し、単なる「花を眺める花壇づくり」ではなく、「花とのふれあいを楽しむ花壇づくり」を進めている。</p> <p>校内においては、同校の生徒会のFF（フルフラワー）委員会が主体となって花壇のテーマや花壇デザイン等アイデアを募集し、このアイデアを基本に土づくりから植栽、管理まで一貫した花壇づくりを行う、生徒の自主運営システムが継承・確立されている。</p> <p>また、この活動をホームページ上で紹介し意見を募集するなど、熱心に研究を行っている。</p> <p>さらに、同校の緑化活動は校内のみにとどまらず、毎年春に学校花壇で育てたチューリップを花束にして保育所や福祉施設、お年寄り宅に届けたり、来客者には、花の種、しおり、鉢花をプレゼントするなど、地域住民との交流の輪を広げ、地域の緑化推進にも顕著な貢献をしている。</p>

[学 校]

<p>名 称</p>	<p>くまもとしりつたかひらだいしょうがっこう 熊本市立高平台小学校</p>
<p>所在地</p>	<p>熊本県熊本市</p>
<p>代表者</p>	<p>校 長 大塚 義嗣</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同校は、昭和42年の学校創設に伴い、学校緑化の基盤づくりとして、一戸一木を持ち寄り、校庭の整備並びに植樹を行うなど、環境緑化を中心に据えて、児童の心を育てる教育活動を展開してきた。</p> <p>「心に潤いを与える緑づくり」をテーマとして、手作り花壇、観察園や、「10年の森」、野外ステージを完成させるとともに、全校一人一鉢運動を展開し、花であふれる学校を築き上げた。近年では、「子どもの主体性を育む緑化活動」として10年計画の植樹を行い、児童主体による緑化活動の推進を図ってきた。現在、校内を中心に行われてきたこの緑化活動を、「地域に学び、広げる緑化活動」へと広げ、月に1回設けられた「フレッシュタイム」という時間を、全校を上げて保護者、地域が一体となった緑化活動として位置付けている。</p> <p>また、地域の人材を講師として、豊富なタケや間伐材を使ったプランターづくりや樹木の保護などを行い、給食の残滓で出た生ゴミを堆肥にする「エコスクール」運動も積極的に行うとともに、このプランターで育てた花を地域に設置するなど、地域に喜ばれ、地域とともに緑化を通して子どもを育てる取組へと発展させており、地域からも高い評価を受けている。</p>

[地方公共団体]

<p>名 称</p>	<p>いたみし 伊丹市</p>
<p>所在地</p>	<p>兵庫県伊丹市</p>
<p>代表者</p>	<p>市長 松下 勉</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同市は大阪府と隣接する阪神地域にあり、総面積の約95%を市街化区域が占める大都市近郊地域である。その中で昆陽池（こやいけ）公園は、市民のオアシスとして昭和42年から緑化を中心に整備を進め、冬季にはカモ類が数多く飛来するなど、今では同市のみならず周辺地域の憩いの場となっている。</p> <p>こうしたことから、同市が主体となって、昆陽池周辺に継続して樹木を植栽し、野鳥観察橋や野鳥解説板を設置するなど公園の整備を行っている。緑化事業により昭和43年から通算して、アジサイ等の花木約260本や、ケヤキ、カシ類等の樹木約2,000本を植栽し、緑化活動を行うとともに、飛来する鳥類の情報発信や観察会を行うなど、野鳥の保護にも力を入れている。</p> <p>さらに、市域全体に緑を広げていくことを目標とした「伊丹市みどりの基本計画」を平成11年に策定し、市民緑化協定を活用した地域まちづくりや市民による自然保護活動などへの活動支援、また、連続性のある緑の形成に向けた整備など、積極的に緑化の推進に努めている。</p>

[地方公共団体]

<p>名 称</p>	<p>おおがきし 大 垣 市</p>
<p>所 在 地</p>	<p>岐阜県大垣市</p>
<p>代 表 者</p>	<p>市 長 小川 敏</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同市は、東西交通の要衝としての利便性や良質で豊富な地下水を利用した産業の立地により、県下第一の工業都市として発展してきたが、近年の工業化により失われつつある自然を次世代に引継ぐため、街の緑化に取り組んでいる。</p> <p>地域に緑をふやす目的で、市民団体が市から配布された花の苗を公共花壇に植栽し、栽培している他に、小学校入学など記念日に住民に苗木を配布し、家庭の緑化を促進している。また、花による快適な環境づくりと豊かな生活の形成を目指し、市がモデル地区を募集し、その推進団体を保護・育成することにより、潤いと安らぎのある豊かな街づくりを推進している。</p> <p>さらに、「大垣市緑の基本計画」に基づき、緑の役割の重要性を理解してもらうため、市当局と住民が一緒になって市民講座を開講している。</p> <p>その他、休耕田の有効活用としてヒマワリを栽培し、地域の景観形成を行うとともに、市内にある曾根町公園のハナショウブを目玉に地元自治会が実行委員会となり祭りを開くことで訪れる人の目を楽しませている。</p>

[地方公共団体]

<p>名 称</p>	<p>つきだてまち 月 舘 町</p>
<p>所 在 地</p>	<p>福島県伊達郡月舘町</p>
<p>代 表 者</p>	<p>町 長 遠藤 五六</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同町では、平成5年に策定された第2次振興計画の中の「F & G（フラワー&グリーン）構想」を実現するため、平成6年に「やまゆり花舞四季会社」を組織。社名は、町の花ヤマユリに、「株式会社」をもじって付けられたもので、四季を通じて花が舞う町への願いが込められている。組織は、町長が社長を務め、各行政区と学校を支社、集落を支店、町民一人一人が社員というように、町全体を会社に見立てている。</p> <p>町民には、会社の「かぶ」としてユリの球根を購入してもらい（ゆりの一株運動）、「かぶ主」は町内全世帯に上っている。また、各支社単位での花壇整備、道路沿線の花いっぱい運動、ヤマユリ群生地造成など、町民の手によって様々なアイデアを出し合い、地域の特性を活かした独自の緑化運動を行っている。</p> <p>このほか、各世帯で育てられたユリの花を持ち寄った「ゆりの花コンテスト」や、花に関する様々なアトラクションを設けた「つきだてリリーフェスタ～ゆりと花たちの祭典～」を開催し、町内外に花の町を広くPRしている。</p>

[地方公共団体]

<p>名 称</p>	<p>みなみあしがらし 南 足 柄 市</p>
<p>所 在 地</p>	<p>神奈川県南足柄市</p>
<p>代 表 者</p>	<p>市 長 鈴木 佑</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同市では、平成5年に、水を市勢の発展の基本的要素として位置づけ、水利用に関する基本方針を明らかにした「水のマスタープラン」を策定し、水資源かん養施策を積極的に推進している。</p> <p>平成10年には、水資源の保全及び利用に関する施策について必要な事項を定めた「水資源の保全及び利用に関する条例」を制定するとともに、水資源の保全及び利用に関する目標及び施策の方向を定めた「水資源保全利用基本計画」を策定し、水資源政策の積極的な推進を図っている。</p> <p>個別の施策としては、水資源かん養保全区域及びキャンプ等禁止区域の指定、足柄グリーン文化基金の運用益を活用した各種の緑化事業、間伐・枝打ち推進事業補助事業、森林整備を進める森林所有者への支援事業として流域別森林整備事業及び狩川流域水源林整備事業（平成9年以降は、かながわの水源の森林づくり事業へ移行）、下草刈り等の生活環境保全整備事業、市民参加を募ったブナの植樹、森林の確保等のための山林の買い取りがあり、事業所、市民と一体となって緑化推進活動を推進している。</p>